



篠原小学校「学校だより」

令和8年4月8日

しのささっ子



令和8年度のスタート

柔らかい日差しとともに、篠原にも春が訪れました。そして、無事に新学期を迎えることができました。

今年度は新1年生89名を迎え、616名でのスタートとなりました。毎日、笑顔で、また楽しさいっぱいの学校になるように、職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。

さて、今年度の篠原小学校の教育活動では、「やってみよう・ありがとう」をキーワードとし、学校、保護者、地域が一体となって、笑顔いっぱいの楽しい学校を目指していきます。そして、以下のことを「目指す子供像」として掲げ、重点を置いて活動していきます。

【にこにこ】自他のよさを大切にする子

- ・自己を見つめる道德教育の充実
- ・子供主体の特別活動の工夫

【きらきら】主体的に学び合う子

- ・意図的な自己決定・自己選択の場の設定
- ・学びを広げ、深める対話活動の実現

【ぐんぐん】粘り強くチャレンジする子

- ・課題を次につなげるための振り返りの工夫
- ・粘り強く取り組む「ぐんぐんカード」の活用



始業式で、楽しい学校にするためのキーワードとして「ありがとう」をゲットしようと話をしました。篠原小学校のみんながうれしくなる瞬間をたくさん作ろうという話です。

「ありがとう」をゲットするためには、優しい行動が必要です。友達、家族、地域、環境、様々な立場の人達に優しい行動を起こすことを目指します。「自分が『ありがとう』を言うことはもちろんですが、周りの人から『ありがとう』と言われると、とてもうれしい気持ちになります。」と子供たちに伝え、どの子も素敵な笑顔を見せてくれました。

令和8年度も、今までの篠原小学校の良き伝統を引き継いでいながら、教育活動を進めてまいります。保護者や地域の皆様方の御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

浜松市立篠原小学校長 今田 徹